秦野さんぽ Vol.45 令和3年(2021)3月19日発行
一般社団法人 秦野市観光協会
〒257-0045 神奈川県秦野市桜町1-4-1 / ☎0463-82-8833

鶴巻温泉駅から善波峠を通り秦野駅へ

ふと振り返れば、懐かしい風景にであう、そんな秦野の昔を訪ねる企画
かつて特集した秦野の古道「矢倉沢往還」を歩き、秦野の魅力を再発見！

賑わいを見せた十日市場

上宿観音

百番供養塔

切通し近くのお地蔵様

曾屋村の古地図（天保6年）

矢倉沢往還を歩く 鶴巻温泉駅から秦野駅編

今回は11年前の第21号で取り上げた伊勢原市域から秦野市への矢倉沢往還をふたたび紹介します。

前回の特集では、観光スポットの多いルートを選び、少し矢倉沢往還から離れたポイントを案内していましたが、今回は資料を参考に、出来るだけ往時の道をなぞるように歩きます。

前回同様、鶴巻温泉駅から歩き始め、伊勢原市側から善波峠を抜け、曾屋村の十日市場と呼ばれた秦野市の本町四ツ角を通り、秦野駅を目指します。

善波峠周辺で少し登り下りはありますが、全体的に高低差の少ない9キロ、2時間20分のコースになります。

善波峠を越える道は残っていませんが、切通しには聖徳太子の石像や、御夜塔などがあり、この道が矢倉沢往還だったことを物語っています。街の中心である本町四ツ角周辺には、曾屋十日市場がありました。十日市場はこの周辺地域の経済的な中心地となっていて、近隣にある古い石の道標には、十日市場を案内するものが少なくありません。

また、本町四ツ角は、東海道平塚宿へ出る平塚道と矢倉沢往還の交差していた場所で、多くの旅人や物資を運ぶ馬が盛んに行き交っていたようです。

宿場時代の面影はありませんが、今も懐かしい佇まいの建物が残っています。

街道は水無川を渡って渋沢方面に進みますが、今回は秦野駅まで歩く散策路の紹介とさせていただき、渋沢方面は、次回以降、ご案内します。

桜土手古墳展示館がリニューアル！

はだの歴史博物館OPEN!!

秦野の歴史まるわかり！

昨年十一月に開館三十周年を迎えた秦野市堀山下の桜土手古墳展示館がリニューアル、はだの歴史博物館として生まれ変わりました。

展示内容も秦野の歴史を総合的に学べるものに一新。常設展示では、広く深く秦野の歴史に触れることができます。

博物館では企画展や講座などさまざまなイベントが開催されています。

また昨年十二月には下大槻の東開戸遺跡から出土した琥珀大珠と翡翠大珠が市指定重要文化財に指定されました。過去に指定された銀装圭頭大刀と並ぶ秦野市を代表する貴重な文化財です。

東開戸遺跡は、およそ4000～5000年ほど前の縄文時代中期の集落の址でした。

今回発見された大珠は、その集落の中心部の墓地から出土しました。

全国で出土している琥珀や翡翠は3～4センチメートルものがほとんどで、琥珀については、県内では出土例がなく、大きさは国内最大級のものです。

ほかにも江戸時代の古文書や近代の商店街の発達を示す資料、葉タバコ耕作に関する民具など、貴重な文化財の展示される「はだの歴史博物館」で秦野の歴史に思いを馳せてみてはいかがでしょう。

《常設展紹介》

第1展示コーナー
桜土手古墳群と古代人の祈り
桜土手古墳群からの出土品が数多く展示されています。

第2展示コーナー
鎌倉時代から江戸時代の秦野
鎌倉から江戸時代にかけての秦野に関する各種資料が展示されています。

第3展示コーナー
葉タバコ耕作と秦野
秦野の葉タバコ耕作の歴史が紹介されています。

第4展示コーナー
秦野の近代化と発展
明治維新以降の秦野の近代化を社会、暮らし、農業等のインフラ等の視点から紹介しています。

【はだの歴史博物館】

所在地 秦野市堀山下380-3
電話番号 0463-87-5542
開館時間 午前9時から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）
休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館）、および祝日の翌日、年末年始
入館料 無料

令和3年3月28日オープン ヤビツ峠レストハウス

表丹沢の豊かな自然の中で、ハーブティーやコーヒーでゆったりと時間を過ごしてみませんか。

サイクリストや登山者をはじめ、表丹沢のアクティビティの拠点となる観光施設「ヤビツ峠レストハウス」が令和3年3月28日(日)、ついにオープンです。

丹沢の恵みを活かした、爽やかな香りで癒してくれる「クロモジ茶」。秦野の食材をふんだんに使用した特製カレーライスや豚汁など、軽飲食も楽しめます。また、アウトドア用品の販売・レンタルや山と自然を楽しむ体験プログラムもご用意しています。

ヤビツ峠には駐車場もあり、神奈川中央交通のバスも運行されています。表丹沢尾根の縦走、イタツミ尾根を登る大山登山の拠点でもあります。

丹沢・大山の雄大な山並みに包まれるように建つ「ヤビツ峠レストハウス」。丹沢・大山にお越しの際には、ぜひお立ち寄りください。皆さんの満足する安らぎとゆったりとした癒しの時間が過ごせるはずです。

所在地 神奈川県秦野市寺山字鷹採1728-1
営業時間 平日 9:00-16:00 / 土日祝日 8:30-16:30
定休日 水曜日、木曜日（祝日の場合は翌日）

古地図の範囲

※●は、当協会の会員様の店舗です。
各店舗の詳しい情報は、秦野市観光協会までお問い合わせください。

曾屋村（現在の本町四ツ角周辺）の古地図
中央下の部分に矢倉沢往還の文字が見えます。

《参考資料》
矢倉沢往還　善波峠～足柄峠：矢倉沢往還に関する研究会
秦野さんぽ Vol.21 ～ 23、秦野市史通史２

矢倉沢往還とは・・・
江戸時代に東海道の脇往還として整備された街道で、主として物資の運搬や、大山、富士山への順礼の道として利用されました。
ルートは江戸赤坂御門（赤坂見附）を起点として、青山、渋谷、三軒茶屋を通り、瀬田、二子、そして多摩丘陵と相模野の中央を横切り、厚木、伊勢原、秦野、そして足柄峠を経て、沼津へと至る道です。富士山へも通じていたため、途中にある伊勢原、曾屋から大山へ登る人も多く、大山道とも称されました。

曾屋村周辺部里程図
中心が曾屋村

一般社団法人 秦野市観光協会　〒257-0045 神奈川県秦野市桜町 1-4-1 / ☎ 0463-82-8833　秦野さんぽ Vol.45　令和３年（2021）３月19日発行

Let's Go!

散45th歩

矢倉沢を歩く

矢倉沢往還ふたたび ～ 鶴巻温泉駅から 秦野駅へ ～

スタートは小田急線鶴巻温泉駅北口です。線路を横断する県道を北へ進むと８分ほどで箕輪駅跡に到着します。前回特集した際は、ここで曲がるルートを紹介しましたが、今回は県道をさらに直進し、かつての道を忠実に歩くため、国道２４６号の桜坂交差点まで歩きます。矢倉沢往還は東名高速道路と国道２４６号の交差する場所の少し南側を通っていたようです。

現在は、往時の道が失われているので、歩道橋を渡り、国道２４６号を善波峠方面へ、８００ｍほど歩き、坪ノ内交差点で、信号を渡り、住宅街へ入ります。

バス停を過ぎ、十字路を左へ進み、ハイキングコースに入ります。

善波峠のところで少し登るけど、高低差のあまりない歩きやすいコースだよ。

コース所要時間　約 2 時間 20 分（休憩なし）　距離　約 9.0km

① 鶴巻温泉駅
（10分）約0.7km
② 箕輪駅跡
（8分）約0.6km
③ 桜坂交差点
（10分）約0.8km
④ 坪ノ内交差点
（7分）約0.5km
⑤ 神代杉（うもれ木）
（10分）約0.6km
⑥ 馬頭観音
（35分）約1.7km
⑦ 善波隧道
（10分）約0.6km
⑧ 善波峠の切通し
（16分）約0.9km
⑨ 百番供養塔
（10分）約0.9km
⑩ 矢倉沢往還の石碑
（5分）約0.4km
⑪ 入船町の庚申塔
（7分）約0.5km
⑫ 上宿観音堂
（12分）約0.8km
⑬ 秦野駅

秦野市観光協会 ☎0463-82-8833　https://www.kankou-hadano.org/　神奈川中央交通西（株）秦野営業所 ☎0463-81-1803　秦野市観光振興課 ☎0463-82-5111（代表）